

FASTシリーズによる風況調査

観測条件により各種構成を選択可能

■ 概要

FAST/FAST-Multiシリーズを利用したNEDO（技術開発機構）準拠の風況調査においては、風向風速計の本数や他の観測要素の有無により、各種の構成が可能です。

1 高度、風向風速各1点の観測であれば、FASTシリーズの風向風速測定専用タイプであるFAST-WNを選択することで、最も安価な構成となります。

1箇所2高度の測定を行う場合は風向風速各2点の測定となりますので、FAST-Multiシリーズのアナログ4ch、パルス2chを実装したFAST-M4Pでの構成となります。

風向風速以外の気象要素なども観測する必要があるときは、FAST-Multiシリーズの最上位機種であるアナログ8ch、パルス2chを実装したFAST-M8Pの利用をお勧めします。



MYG-5103

FAST-M8P

■ 特徴

- ・ NEDO（技術開発機構）準拠の風況調査業務に必要な測定要素を記録できます。
- ・ CFカードインターフェース標準装備で、CFカードをご用意いただければデータ回収が簡単です。
- ・ CFカードで回収したデータはCSV形式ファイルなので、市販表計算ソフトで直接読み出せます。
- ・ シール鉛蓄電池や太陽電池と組み合わせれば、容易に無電源長期計測システムを構築できます。
- ・ モデム制御機能内蔵で、一般電話回線や携帯電話網を介した遠隔観測システムを構築できます。
- ・ レンジ設定を変更できるので各種センサを接続し、風況調査と併せ各種気象要素の観測が可能です。（FAST-Multiシリーズのみ）

■ 記録要素

- ①10分間平均風速 ②10分間ベクトル平均風向
③インターバル間最大瞬間風速 ④最大瞬間風速時風向 ⑤最大瞬間風速時起時
⑥インターナル内10分間移動平均最大風速（最大風速） ⑦最大風速時10分間ベクトル平均風向 ⑧起時
⑨インターバル時瞬間風速 ⑩インターバル時瞬間風向 ⑪、風速標準偏差

FAST-M4PまたはFAST-M8Pでは、1台で中高層2層の風向風速の観測可能なほか、気温や気圧などアナログ信号出力タイプのセンサを接続し、他の気象要素の観測も可能です。

■ 主な仕様（FAST/FAST-Multiシリーズ共通）

項目	仕様
記録データ数	123,000回（測定間隔10分で約854日）※記録要素数による変動はありません。
測定間隔	1~6, 10, 12, 15, 20, 30[秒] / 1~6, 10, 12, 15, 20, 30[分] / 1~4, 6, 8, 12, 24[時間]
サンプリング間隔	1秒
電池動作日数	標準電池 CR-P2 測定間隔10分のとき約40日
	単一リチウム電池※ 測定間隔10分のとき約280日

■ 価格

型式	価格（税別）
FAST-WN	158,000円（本体のみ価格、風向風速計1台接続可能）※外部電源使用時+10,000円
FAST-M4P	180,000円（本体のみ価格、風向風速計2台接続可能/その他接続可能センサ2）
FAST-M8P	200,000円（本体のみ価格、風向風速計2台接続可能/その他接続可能センサ6）
MYG-5103	240,000円（風車型風向風速計/台）
単一リチウム電池※（4本組）	32,000円（長期計測用、使用温度範囲-60~+85°C、14.4V/13Ah、電池ホルダー付き）
収納ボックス	25,000円~（シール鉛蓄電池や単一リチウム電池※などの外部電池収納用）

矢羽・風杯式の風向風速計（MetOne社製034B センサ価格150,000円）との組み合わせも可能です。



〒060-0063

札幌市中央区南3条西8丁目7番地4 遠藤ビル5F

TEL 011-596-0201

FAX 011-596-0234

URL <http://www.mcs-fs.com>

E-MAIL info@mcs-fs.com

※仕様及び価格は、改良のため予告なく変更することがあります。 2009.06.01